

求めて已まぬ

理想の未来を掴みに行け！

松本蟻ヶ崎高校
2学年 学年・進路通信
第38号 2021.5.1

4月も終わります

休校も4日間で終わり、今年は、授業をやってGWを迎えられますね。GW中に色々な計画を立てている人もいるでしょう。昨年ではできなかった部活動や練習試合も、今年はできますね。様々な制限はあるものの、蟻高本来のGWの様子が今年は見られそうで、私たちもホッとしています。

さて、前回の学年通信で、皆さんのスタディーサポートの結果を考察しましたが、その後、取り組み方に工夫を凝らしたでしょうか。このGWを、勉強せずに終わりにしないためにも、自分の取り組み方を振り返ってみましょう。家庭学習の時間を増やすことも必要ですが、それが思うように取れないという人は、質の追求も考えてみましょう。勉強へのとりかかり方や、勉強している間の集中の仕方など、意外に改善点はみつかります。

授業の開始時を見ている、「教科書を開いて」という前にすでに開いている人や、こちらが話し出す前にすでに筆記用具を手に入れている人もいれば、授業が始まって数分経っているのに教科書もノートも開いていない人もいますし、黒板に書いたり説明したりしても、それが始まってからようやくノートを開いて筆記用具を出す人もいます。そういう人は、おそらく家庭学習でも、とりかかりの時にかなりの時間をロスしているのではないかと思いますし、同じ時間勉強しても、質があまり良くないのではないのでしょうか。このGWの期間は、自分の学習習慣を振り返ってブラッシュアップ(refine)する期間としても有効だと思います。ぜひ、何かしら取り組んでください(もう十分やっている人は、それ以上無理する必要はありません)。

☆ 今後の予定(急な変更があるかもしれません)

- ・ 5月7日(金) 特①②③+金④⑤⑥
- ・ 5月11日(火) ぎんが祭 一斉係会(放課後)
- ・ 5月12日(水) 特①②③+水④⑤⑥
- ※定期考査1週間前
- ・ 5月13日(木) ぎんが総会(LHR 終了後)
- ・ 5月14日(金) 午前授業(金①②③)
- ・ 5月15日(土)、16日(日) 中信総合体育大会
- ・ 5月17日(月) 振替休日
- ・ 5月19日(水)~21日(金) 定期考査Ⅰ
- ・ 5月24日(月)~ 教育実習開始(~6月11日)
読書週間(~6月4日)

- ・ 5月26日(水) 特①②③+水④⑤⑥
- ・ 5月27日(木) 内科検診(午後)
- ・ 5月29日(土) 中信地区高校合同演奏会
- ・ 5月30日(日) 英語検定一次試験
- ・ 5月31日(月) 特①②③+月④⑤⑥

☆ 全国的にも、全県的にも感染警戒レベルが上がってきています。もう一度、感染対策をしっかり見直しましょう。

- 朝の検温はやっていますか?健康チェック表の記入を!
- 手洗い、マスク、消毒の習慣がおろそかになっていませんか?
- 教室内の換気は、頻繁に行っていますか?(換気の悪い飲食店などでクラスターは起こっています)
- 清掃が雑になっていませんか?(教室・廊下の隅々までモップをかける。隅にたまったゴミはホウキで掃いて取り除く。校内を清潔に保つ。極力ゴミは出さない等)
- 会話や飲食は距離を保ち、対面・密にならないようにする(特に昼食時)。

改めて、お願いします。

- ☆ いよいよ春の大会シーズンです。大会を良い思い出とするためにも、次のことを心がけましょう。
- レギュラーとして出場する人もいることでしょう。ベストコンディションで大会に臨むためには、心身の不調は大敵です。連休中も、規則正しい生活を心がけましょう。
- 練習試合や大会等で、普段は通らない道を通ったり、行かない場所に行ったりすることがあると思います。くれぐれも交通安全に気を配りましょう。怪我をすると、大会出場も危うくなります。
- そのような場に行く時も、感染対策を心がけてください。不特定多数の人と、密にならないように。体調不良の時は、休む勇気を。
- 部活一辺倒の生活とならないように。1日の生活の中で、「文武両道」を心がけましょう。
- 数学・英語など、連休中の課題が出ている教科もあります。提出日を守って出せるよう、計画的に学習しましょう。

☆この通信を含め、学校からの配布物は必ず保護者の方にも見せてください。

～ 卒業生の合格体験記から ～

「信州大学 教育学部」合格 Nさん

まず初めに、私の勉強スタイルから紹介していきたいと思います。私は吹奏楽部に所属していたので毎日毎日、部活に明け暮れた日々を過ごしてきました。そのため、部活をやっていた頃の勉強時間は夜10時から1時までの約3時間。でも、部活で帰りが遅かった時は2時間くらいだったかもしれません。そんな中、私が勉強をする上で常に心掛けていたことは、“質”を求めることです。いくら忙しくて、勉強時間が確保できないと思っても、必ず時間はあるはず。残されたわずかな勉強時間を真剣に、集中して取り組んでみてください。私も昔は勉強時間の長さをとても気にしていましたが、内容を濃くしようと集中するようになってからは勉強が苦じゃなくなって、一日の中に限られた勉強時間を貴重なものとして取り組むようになりました。だから、部活を頑張っているみなさんも私のように思える日がくるとと思います。とにかく勉強には“質”を大切にしてください。それから、これは私のタイプだったのかもしれませんが私の場合は、短期集中で直前に詰め込むより毎日コツコツ頑張る方が好きだったので、普通の学校の授業に集中するのはもちろん、予習復習や課題など、今日の前にある勉強を一つ一つこなしていきました。頭の中への定着も良かったですし、授業の理解度も上がるので一石二鳥です！これから受験を控える皆さんは、ぜひ目の前にある勉強を真剣に取り組んで、決して疎かにしないようにしてほしいと思います。

あともう一つ大切なことがあります。それは部活動や生徒会活動を一生懸命に頑張っていたということです。これは活動中も引退後もプラスに働きます。私が部活を頑張っていた良かったなと一番感じたのは、実は引退後の受験生となった時です。先ほど述べたように、それまでは短時間でいかに内容を濃く、集中して勉強するか考えて取り組んできたので、いざ受験生になって勉強時間が増えた時も、自然と集中して勉強できました。そして、私の場合は家に帰るとやる気が出にくかったので、夜遅くまで開いている塾の自習室でほぼ毎日21時頃まで勉強して帰るようにしていましたが、部活をやっていた時の勉強スタイルに慣れていておかげで、夜遅くまで勉強するのが平気な体になっていました。だから、部活や生徒会で培った能力や忍耐は決して無駄なものにならないということです。

ここまでざっと私の勉強スタイルについて述べてきましたが、次に私の受験について紹介します。私がこの大学、学部、学科を第一志望と決めたのはなんと高校1年生の時です。それからずっと揺らぐことなく第一志望であり続けました。そして、国立大学だったのでセンター試験が命です。そのため、とにかくセンター試験まではセンター試験の勉強を毎日頑張りました。しかし実際のセンター試験は思ったように点が取れず、センターリサーチで第一志望はE判定でした。何度もやってきた模試

だったら、解きなおしや復習ができますが本番は違います。そんなことはできません。急にどーんと頭に漬物石のしかかってくるような、そんな気持ちになりました。でも私は絶対にここに行きたいんだ、絶対に合格するんだと思い、前期試験に向けての勉強を頑張りました。前期試験は英語だけでしたが、そのかわり毎日毎日英語漬けの日々が続きました。センター試験を終えてから私が強く感じたことは、“分かったつもりが一番分かっていない”ということです。私はこれに気が付くのが遅かったです。もっと早く気が付いていればなんと何度悔いたかわからないです。だからみなさんには、たとえ一つでも“分かったつもり”をつくらないでほしいなと思っています。センター試験で曖昧だった英語を今度こそ絶対に克服しなきゃと思い、一からやり直しました。英単語帳も20周ほど見て書いて、一か月でボロボロになるまで叩き込みました。そして英作文は、ALTや信頼できる英語の先生に添削をしていただきました。しかし結果は不合格。現実を突きつけられた瞬間でした。けれどもそれと同時に、私は同じ第一志望を後期試験まで出願していたので後期試験を受けることになりました。前期試験が終わってからも特に熱が冷めることなく、とにかく目の前の試験に向けてできることを努力できたと思います。後期試験は面接、それも集団面接です。私とはとにかくしばらくの間、家庭科から遠のいてしまっていたので家庭科の先生のもとへ通い、家庭科の勉強をしました。絶対にここに行きたい、挽回してみせる！と思って邁進しました。そしてその結果、奇跡的に合格することができました。最初は本当に信じられないくらいびっくりしました。前期で落ちて後期で挽回できたということです。こんなこともあるんです。そして実は私は、この第一志望以外に受験をしていません。どうしても行きたいという強い気持ちがあったので、浪人覚悟で併願はしていませんでした。もちろん、浪人を覚悟していたとはいえ絶対に現役合格してやる！とは思っていましたが、ここで私が伝えたいことは、私のように併願をかけずに国立一本で勝負しろと伝えたいのでは決してありません。要は、みなさんも絶対に行きたい第一志望をできるだけ早く決めてほしいということです。これが決まれば必然的に努力しようという気持ちになります。そして、最後まで諦めずに粘って努力をし続けることで、必ず合格につながります。これは受験を終えてみないと分かりません。現役生は最後まで伸びるという言葉は本当です。嘘じゃありません。

最後に、私はセンター試験や前期試験までに頑張った勉強は決して無駄ではなかったと思っています(実際、大学でとても成果が出ています)。きっとどこかで役に立つんです！そう信じて頑張ってください。自分の将来を夢見て今できることを精一杯こなし、最後まで決して諦めず、邁進してくれることを願います。最後まで読んでいただきありがとうございます。頑張れ蟻高生！

☆この通信を含め、学校からの配布物は必ず保護者の方にも見せてください。